
転生妄想日記

B M黒流星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生妄想日記

【Nコード】

N3473BA

【作者名】

BM黒流星

【あらすじ】

目が覚めたら神様が転生しないかといってきた

いつのまにか神に氣にいられた俺

ネギまの世界に行つてこい？

原作崩壊OKだって・・・いいだろう行つてやんよ

オリ主によるチート&ハーレム?の【転生妄想日記】はじまります
!

プロローグ？（前書き）

処女作です！

至らぬ点や誤字脱字があったらいつて貰えると幸いです

プロローグ？

「転生してみないか？」

何言ってんだこの爺www

夢かwww

最近疲れてるしな

「おい無視するじゃない！」

なんだよ寝させろよ・・・

最近疲れてるっていつたろ

だいたいここ何処だよ？

なんだこのアリール使ったような白い部屋は（笑）

「だから無視するんじゃないわい（怒）」

ハァーいいかげん相手してやるか

「で、あなたは誰なんですか？」

「ほつやつと話を聞いてくれるのかのー？」

【心情：まず誰か聞かなきゃ話にならんだろ】

「ああ まずここは何処なのかとあなたは何者なのかを教えてください
さい？」

「儂は、神じゃ！」

は、今何て言ったこのジジイボケたかボケてるのかボケてるんですか三段活用ww上条さん乙つと

「は、神・紙・髪・いやここはまさかの加味？」

「いや、こちらに聞かれても??だーから神じゃよ神ゴットじゃ！」

えっ！神、ゴットこのジジイ今自分のことゴットって言ったな、ボケてるんじゃない危ない人かよ
やべーよ目合わせないようにしなきゃな
いい医者紹介してやるーか（笑）

「お主、さつきから随分と失礼じゃな（怒）」
やべつい口に出てたか

「いったじやる神だと読心術は簡単にできるわ」

まじかよ、こいつまじて神なのか？

「わかった、神（仮）ここは何処なんだ？」

「飯はよけいじゃ！まあよいわここは生と死のはざまの空間じゃ」

ん、ちよつと待て今何て言った・・・生と死の空間だと

「おい！神様よ俺は死んだのか？」

神様の表情少し曇る

「お主には大変申し訳ないのじゃがこちらのミスでお主を殺してしまつたのじゃ」

なん・・・だと

そつか俺死んだのか

「本当に申し訳ない」

土下座するんじゃねえのかつて勢いで謝る神

ここまでされたら許してやるか

「おいおい、神様あるー者がそんなに謝るなよ！」

「誰にだってミスはあるだろーしよ」

「なんと、心の広い若者じゃ気に入った！」

「ハハありがとうよ神様」

「で、俺はどうすればいいんだ天国か地獄に行くのか？」

天国かー行ける気がしねえなんだかんだで悪行してたからなあガラ
ス割ったり住居侵入したり蛍光灯割ったりなー

（作者のことじゃないよ、ほんとだよ）

ん、今なんか電波が気のせいかな、しかし地獄かーいやだなあー

「こちらのミスじゃから天国でも地獄でもなくお主には、転生して
もらっぞ」

「転生？転生ってあれか、よく二次創作とかのあれなのか？」

「そうじゃその転生じゃ！」

まじかよ、転生？

オタクの憧れの転生だと

きた、俺の時代・・・

「我が世の春が来たー！」いかん俺としたことが取り乱しちまった

冷静になれ俺、K i l l e rにいやC O O Lになれ！

よし、落ち着いてきた！

次話に続く！

プロローグ？（後書き）

感想おまちしています。

プロローグ？（前書き）

1日に2話は、キツイ！

誤字脱字&感想まっけます

プロローグ？

「さあ、お主は、何処の世界にいきたいのじゃ？」

どこの世界かー迷うなー

「迷っているようじゃなでは、こちらから行く世界を絞るかのぉ」

「この3つから選ぶのじゃ！」

・ネギま

・F a t e

・なのは

まず、なのは・・・無いな肉体言語は、ダメ絶対！っと

F a t e は、個人的には好きだかバーサーカーと某金ぴかに勝てる
気がしねえ

てことは、ネギま一択じゃねえかよ

まあいいか赤松ワールドは可愛い子多いし！

「神様、俺はネギまの世界に行くよ！」

「ほう！ネギまの世界かでは、次にお主に能力を授けようかのう」

能力がーテンプレ的には1〜3多くて5個つてとこだな

「なあ神様、何個くらいその能力つてのくれるんだ？」

たのむ5個、5個くれ頼む300円上げるから！

「そうじゃのーお主に授ける能力の数は・・・」

5個だと言ってくれ

「お主は儂が気にいってるので何個でもよいぞ！」

なん・・・だと！

今何て言った・・・

「何個でも？」

「何個でもじゃ！」

「り、リアリイ？」

「イエスじゃ」

「ぱ、パードウン？」

「だから、イエスじゃてそれともいらんのか？」

「いる！」

「だったら早く決めんかい」

「チートでもいいのか？」

「ちーと、とはなんじゃ？」

「反則的な能力のことだ」

「どんな能力でもバッチこいじゃ！」

まじかよ・・・

これまさか俺 t u e e e e e e e フラグなのか？
じゃ割りきって能力決めますか！

・1つ目は、どんなスキルでも作れる【異能創作】
【スキルメーカー】

・2つ目は、どんな物（武器）でも作れる【万物創作】
【アカシックメーカー】

・3つ目は、成長限界の無い体（魔力&気）

・4つ目は、最高の盾ぶっちゃけ、ドリームオーラ（元ネタはロツ
○マン）

・5つ目は、イケメンにしてモテモテにして（フラグメーカー）

・6つ目は、魔眼、右目がギアスで左目が直視の魔眼

・7・・・は、あれもう無いぞ？？7、7つ目はーあった
アカシックレコードが使いたい！

「いいぞ！」

はや？？

こんなにはやく決めていいのかよ！

「大丈夫じゃ！儂偉いからドヤッ」

いやドヤッってされても

「神様あんた名前は？」

「儂の名前はオーディンじゃ」

「メチャメチャ偉いじゃん（驚）」

「だから、モーマンタイじゃ」

だまれ似非中国人www

「じゃ能力を与えよう！だがかなり激痛が走るので気お付けのじや」

は？激痛？

「じゃいくぞ！」

ちょwwwおまwww

二時間後！

痛かった死ぬかと思ったけどどんな痛みかって？いえたもんじゃねえ拷問とか肉体言語なんてもんじゃねえもっと恐ろしいものを見たぜ

「うむ、無事に能力は付加されたようじゃな」

無事だとこの様子を見て無事というのか貴様は？

「魔力と気は見つけられたかのう？」

魔力と気か・・・このじんわり暖かいのが気だな魔力はこのひんや

りした感じだな

「なあ、オーディン魔力と気多くな？」

「うむ、儂特製バグ仕様じゃ！」

まあ多いにこしたことはないか

「さあ、そろそろネギまの世界に行ってもらおうぞ」

「ああ、わかった！だがその前に聞きたいことがある」

「なんじゃ？」

「ネギまの世界に行ってもいいが別に原作を壊してしまってもかまわないのだろう？」

「大丈夫だ、問題ない！」

「じゃ逝ってこい！○○○○よ！」

「ああ、行ってくるよ（逝ってこい？）オーディン」

下に穴が空き・・・

ん、穴？

そのまま急転直下！

「謀ったなオーディンんんんんん」

あいついつか殺す！

次話に続く

プロローグ？（後書き）

書いてみてわかるこの難しさ普段何気なく見ている作品がどんなに大変か分かった今日この頃

主人公設定（前書き）

主人公設定です

主人公設定

名前【衛宮双緋】

身長177cm / 体重：63g

属性：中立

イメージカラー：黒

好きなもの：家族、鍛練

嫌いなもの：自称正義の魔法使い、仲間に関わるもの

顔：上の上、神様の力によりこれでもかというくらいのイケメン！

性格：基本優しい、キレると怖い、仲間や家族に傷付けた者には容赦がない

保有スキル

・異能創作【スキルメーカー】・・・ぶっちゃけどんなスキルでも創れる！チートも真つ青なバク

・万物創作【アカシックメーカー】・・・ぶっちゃけなんでも創れる！必要素材必要なし！等価交換なにそれおいしいの？を地でいくスキル、まあバク

・魔眼・・・右目が【ギアス】左目が【直視の魔眼】どっちも負荷なしwwルルー〇ユ&志〇の苦勞をあざ笑うかのような魔眼

・フラグメーカー・・・言わずもがな主人公の必須スキル別名フラグ一級建築者

・完成【ジ・エンド】・・・黒神めだかが使うアブノーマル見たスキルを自分のものにしより高いものに昇華するスキル、主人公は「スキルメーカー」でこのスキルを自分の知っているスキルでさえ昇華できるように創作した

・無限の剣製【unlimited blade works】
・某アーチャーの固有結界「スキルメーカー」にて創作後「アカシックメーカー」で宝具を創作し全ての宝具を投影することが可能になった、さらにそこに【ジ・エンド】が加わりもはや贋作ではなく本物以上の宝具を投影可能アーチャー涙目ww
詠唱は・・・

I am the bone of my sword .
体は剣で出来ている。

Steel is my body , and fire is
my blood .

血潮は鉄で 心は硝子。

I have created over a thousand
blades .

幾たびの戦場を越えて不敗。

Unknown to Death .

ただの一度も敗走はなく、

Nor known to Life .

ただの一度も理解されない。

Have withstood pain to create many weapons .

彼の者は常に独り 剣の丘で勝利に酔う。

Yet , those hands will never hold anything .

故に、生涯に意味はなく。

So as I pray , unlimited blade works .

その体は、きつと剣で出来ていた。

・森羅万象【アカシックレコード】・・・主人公は、グーグーとして見えていない

宝具一覧

・王の財宝【ゲート・オブ・バビロン】

ランク：E→A++

種別：対人宝具

レンジ：-

主人公が「アカシックメーカー」にて創作無限の剣製で投影された
宝具と創作した宝具が入っているため某金ぴかより断然財宝が多い
・【ドリームオーラ】
ランク：EX
ロック○ンの某オーラ
オーデインの力によって極限まで強化されているぶっちゃけオーデ
インと主人公しか壊せない

【ステータス】

【筋力】：EX 【耐久】：EX 【敏捷】：EX 【魔力】：EX 【幸
運】：EX 【宝具】：EX

リミット有りの場合はAまで低下

魔力&気オーデインのバク仕様によりほぼ しかも限界がないので
使ったびに増加する

魔術回路

凜の○倍これも使ったびに増加するバク仕様

次話に続く

主人公設定（後書き）

だいぶバク仕様になってしまったwww 設定を書いていたら楽しくなつてついやってしまった後悔はしていない

感想まっけます

第一話（前書き）

駄文です。

文才が欲しいと思う今日この頃

感想まっています。

第一話

SIDE：ソウヒ

「ヤバイ！ヤバイ！ヤバイって死ぬよ、死んじゃうよ、俺死ねるう
うーーーーー」

皆様悲鳴から入って申し訳ない、衛宮双緋【えみやそうひ】だ

ただいま急転直下空の旅の途中である。

なぜかってあのくそヤロー

（オーデイン）のせいだよまったく次あったら一発殴らんと気がする
まん。

と、まあ現実逃避はやめよう現状確認だな

・パラシュート無しのスカイダイビング中（2000～30000
m）

あれ、これ死亡フラグ？

嫌な予感

まで、まで、諦めるな俺、俺には能力があるんだ。

ん、能力の使い方わからん

あれーこれマジで詰んだかも

目の前地面だし・・・

やっぱり死亡フラグだな

もういいこのまま地面とキスだ！

男は度胸なんでも試してみるものと某自動車整備工場勤務の青い
つなぎのイイ男が言っていたしな

さあ地面とご対面だ

ドーーーーー

主人公は、気絶した

S I D E : E N D

キングクリムゾンっ！！

SIDE：ソウヒ
いてーよ、なんだよ死んでからろくな目にあつてねえーな俺
まあいいそれよりも大事なことは、ここは何処で原作の何年前なん
だ？

「どーやって確認すればいいんだ」

そう思つた矢先天から一枚の紙が落ちてきた

SIDE：紙（神）

「これを見ているということは、無事に転生できたということじゃ
な、お主を送つた場所はヨーロッパじゃ時間は原作の800年前じ
ゃ、そして能力の使い方はー略ーじゃ、僕はお主のこ
とを見守っているぞ、ではな」

SIDE：紙（神）END

SIDE：ソウヒ

ヨーロッパ？原作800年前だと・・・

エヴァフラグきたー

これは、介入するしかないでしょ

ん、でもあと200年後のことだな

「よし、修行をしよう」

京都にいくつかの修行開始

「まず、認識阻害結果貼つてと」

「次に、ダイオラマ球かーよし、混ぜてこねてつと」

【アカシックメーカー】使用中

5分後

「完成つと!」

「まず、中の時間をーこっちの1日^が中では、10日くらいでいいか」

「じゃ、入るか」

SIDE:END

次話に続く

第一話（後書き）

感想まっています。

第二話（前書き）

今回はいつもより断然短い&駄文です。

ハーレムメンバーのアンケートを行いたいと思います！

感想に好きなキャラを書いていて送って貰えると幸いです。

第二話

SIDE：ソウヒ

「ダイオラマ球（以降別荘と表示）の中に入ってみたがなーんにもねえな」

一面見渡して見ても真っ白である。

「まず、修行の前に家でも作るか」

さあ、どんな家にするか
武家屋敷？洋館？城？

城かー

城いいなあよし城にしよう

「そつと決まったら早速作るか」

【アカシックメーカー】発動

城創作つと

「混ぜてーこねてーっ」と

いやいやそんなんで作れないだろby作者

「大丈夫だ、問題ないキリッ」

あれ、今俺誰に向かって喋ってたんだ？

電波か？

いやこれがかの有名な宇宙意思なのか？

【主人公取り乱し中です】

落ち着け俺COOLにだ………

よし落ち着いた！

「さすがに、城となると時間がかかるか」

うーん暇になっちゃったなあ

そうだ別荘の設定変えよう

まず自然欲しい

これは、自分で作るから問題ないな

じゃ、作りますか

【アカシックメーカー】発動

植物の創作つと

「混ぜてーこねてつと」

いやいやだからそん（ry

うるさいお前の文才がないのが悪いんだ黙ってろ

よし、植物もできて外観は良くなつたな！

「まだ城は、できないのか？」

ふと後ろを見ると
巨大な城が！

ぽっかーん

【主人公放心中】

「でか」

その一言しかでなかったそうだ

次話に続く

第二話（後書き）

ハーレムメンバーのアンケートよろしくお願いします

次回からは、本格的に修行です！

第三話（前書き）

またまた駄文です。

第三話

SIDE：ソウヒ

ぽっかん

「でっけー」

今、俺は自分で作った城のデカさに呆れている

「誰だよ、こんなデカイ城作ったの？」

いやいやお前だよ

「まあーいつか大は小をかねるって言うし」

まあいいや

さあ修行だ！

修行ってまずは、まにすればいいんだろーなあー

まずは、祈りを捧げながらの1日1万回の正拳付きだな

「よし、開始！」

キングクリムゾン！

無理！

祈りを捧げながら1日1万回は、無理！

祈り捧げながら、2千回が限界だ、これは、毎日やって増やして

才能ないのかなあ俺？

否、気合いがたりねえ

筋肉ダルマも言っていた世の中気合いだ気合いがあればなんでもできる

すーはーすーはー

よし！

「プラクテええー・ピギ・ナルううう　アールデスカットおおー
！！！！」

ぼー！

付いた日が付いたぞこれで俺も魔法使いだー！！

こんな感じで1日は終わっていくううううー

次話に続く！

第三話（後書き）

あれえ主人公正拳×2000回と魔法の練習しかしてねえ

・・・まあ次からは、チート&バグ全開です！

第四話（前書き）

やっと投稿できました

ハーレムの応募はまだ続いています。

ご感想よろしく願います

第四話

SIDE：ソウヒ

さーて修行の続きだ

どーも皆さん双緋だ！
修行開始からかれこれ10年です。

えっ時間たつのが早すぎ？だって毎日の修行風景なんてあんまり変わ
りませんよ

まあいいかこれから10年の修行をダイジェストで教えましょう

1年目

ふん、ふん

祈りの正拳付きやつと1日で半分できるようになったか
まあこれだけは、しょうがないか継続は力なりってね

魔法面

よし

「光の精霊11柱『魔法の射手・連弾・光の11矢』」

ドッ

ズカーン

よしなんとか魔法の矢はうてるようになったぜ

5年目

できたやつと1日で祈りの正拳付きが1万回できたぜ

後は、これを繰り返すのみ

魔法面

「光の精霊１１１！！」「光の射手１１１矢」

ドッ

ズガガガガガガ

うん大分ましになっ たな

ちょっと上級魔法いってみつか

「ジ・ルナ、ジ・ソル、ジ・アース、来れ雷精風の精雷を纏いて吹きすさべ南洋の嵐『雷の暴風』」

ドーーーーーッ

やっべーなんだこれカッ コイイぞ

もはやビームだな

10年目

あれだ祈りの正拳のほうは例のあれがでるようになった以上!!

魔法面

「ジ・ルナ、ジ・ソル、ジ・アース契約に従い、我に従え、高殿の王、来れ、巨神を滅ぼす燃え立つ雷霆。百重千重と重ねりて、走れよ稲妻『千の雷』」

ズガッ

ド――――

――――ン

なんだこれヤバいな
漫画で見るのとは大違いだ

後は、これを

「『ジ・ルナ、ジ・ソル、ジ・アース契約に従い、我に従え、高殿の王、来れ、巨神を滅ぼす燃え立つ雷霆。百重千重と重ねりて、走れよ稲妻』『千の雷』」

ドゥン

「固定！『千の雷』掌握！」

「術式兵装『雷天大壮』」

できた！

できたぞ闇の魔法！

こんな感じの10年間でした

次話に続く

第四話（後書き）

主人公に従者の^{メイド}的な作ろうと思うんですがどうでしょう？

夢さん七夜和さんご感想ありがとうございました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3473ba/>

転生妄想日記

2012年1月14日19時54分発行